

▶ ガイロジック 車載Ethernet (マルチギガビット) 開発・テストツール

● 展示の見どころ

Technica Engineering社の車載Ethernet (100BASE-T1 / 1000BASE-T1 / Multi-Gigabit) に対応したメディア・コンバータ、イーサネット・スイッチ、キャプチャ・モジュール (ネットワーク・タップ) を紹介する。従来製品の他、マルチギガビット (2.5G / 5G / 10GBASE-T1) 対応のメディア・コンバータやMACsec対応のイーサネット・スイッチ等の新製品も展示する。

◎ お問い合わせ

ガイロジック株式会社
営業部
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-5-11
松栄ビル5階
TEL ● 0422-26-8211 (平日9:00~17:30)
E-Mail ● te@gailogic.co.jp
URL ● <https://www.gailogic.co.jp/ae/te>



▶ 日本イントリピッド・コントロール・システムズ 全ての車載イーサネットの規格の計測ソリューションを提供

● 展示の見どころ

イントリピッド・コントロール・システムズは、DETROIT郊外に本社を置く私有企業である。車載ネットワーク開発ツールを中心に、高度なソフトウェア/ハードウェア製品の提供に注力している。

イントリピッド・コントロール・システムズの車載イーサネット ツールの全製品を使用して、作業を始めませんか？

今回の展示では100BaseT1、1000BaseT1、マルチギガ、10BaseT1Sのメディアコンバータ、アクティブタップ、ロガー、計測ソリュー

ションを紹介する。

◎ お問い合わせ

株式会社日本イントリピッド・コントロール・システムズ
〒164-0003 東京都中央区日本橋大伝馬町1-59-6
信菱ビル 3F
E-Mail ● icsjapan@intrepidcs.com
URL ● <http://www.intrepidcs.jp/>



▶ 丸文 自動運転車開発を促進するICTオートモーティブソリューション

● 展示の見どころ

丸文は顧客の自動運転車開発を促進させるソリューションを展示する。高密度データを高速通信する車載イーサネットは、高ノイズ環境でも伝送品質を担保する必要がある。FLTEK社BR-100A-IPは高いノイズ耐性を持ち、電波暗室での試験時も開発品を正確に評価可能だ。イーサネット同期精度の評価を行うには、Calnex社Paragon-ONEiの高精度gPTPエミュレーション機能、Spirent社TestCenterのTSN規格準拠試験が必要であり、試験プロセスを自動化することで開発効率をさらに向上させる。Spirent

社GNSSシミュレータ、V2XエミュレータSTC C50の組合せで、実空間をテストシナリオとしてプロットし、自車の自動運転能力を開発現場で何度も繰り返し評価することが可能となる。

◎ お問い合わせ

丸文株式会社
アントレプレナ事業本部 イーリスカンパニー 情報通信課
〒103-8577 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
TEL ● 03-3639-1336 (平日9:00-17:30)
E-Mail ● automotive_industry@marubun.co.jp
URL ● <https://www.marubun.co.jp/products/8622/>



▶ リアルテック・セミコンダクター・ジャパン MACsecとDynamic Configで次世代車載ネットワークをサポート

● 展示の見どころ

リアルテック・セミコンダクター社 (通信系・PC周辺機器用・マルチメディアアプリケーション向け台湾大手ICベンダー、2022年世界ファブレスICメーカーランキング8位) は車載イーサネット領域へ参入し10年が経過。現在はワールドワイドで採用実績を積みながら、高品質と供給安定性を誇り、更なる高性能な製品を目指す。今回、ますます進化している車載イーサネット応用に対し、新たなトレンドである「MACsec」暗号化技術にも先駆的に取り組む。MACsec機能に対応した10/100/1000BASE-T1 PHYを搭載

した車載グレードEthernet Switchを紹介すること、より複雑な車載ネットワークであるSDV (Software Defined Vehicle) に向けてソフトウェア対応 (Dynamic Configuration機能) を強化し、Tier1ユーザーに対し開発サポート体制を含む迅速なサービス・ソリューションを提案する。

◎ お問い合わせ

リアルテック・セミコンダクター・ジャパン株式会社
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-17
KAKIYAビル8F
TEL ● 045-478-4649
E-Mail ● inquiry@realtek.co.jp
URL ● <https://www.realtek.co.jp/>



▶ ローデ・シュワルツ・ジャパン マルチギガビット車載イーサネット評価ソリューション

● 展示の見どころ

自動車内の通信環境は急激に変化しようとしている。ADASなどを統合するセンサーフュージョンから外部環境との協調を図るC-V2X、さらにそれらを統合し瞬時の情報統合を実現し自動運転に至るカギとして自動車内の高速双方向通信として車載イーサネットが注目されている。100Mbpsからスタートしたこの規格はシールドの無い「より対差動線路」により軽量かつ高速通信の実現という自動車にとっての野心的な課題への対応を測り、1Gbpsを経て最大10Gbpsの規格の策定が現在進行中である。こうした背

景を受けて、マルチギガビット車載イーサネット評価ソリューションとして最新のオシロスコープR&S RTPと合わせて、イーサネットケーブルの評価に必須となるネットワーク・アナライザR&S ZNBTを展示予定である。

◎ お問い合わせ

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社 営業部
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1
住友不動産西新宿ビル27階
TEL ● 0120-190-721 (平日9:00~18:00)
E-Mail ● info.rs.jp@rohde-schwarz.com
URL ● <https://www.rohde-schwarz.com/>



▶ 東芝デバイス&ストレージ マルチギガビット車載Ethernet通信システムの評価環境

● 展示の見どころ

車載Ethernetは、故障診断用途など一部機能での採用から、テレマティクスやインフォテインメントシステムなど幅広い機能への展開により通信量が增大している。今後、ゾーンアーキテクチャの採用によってゾーン間通信などバックボーン通信量も増えていくと考えられる。本展示は、増大する通信量に対応したマルチギガビット車載Ethernet通信向けブリッジIC TC9563XBGによるシステム評価を手軽に行える評価ボードの紹介である。また、本評価ボードには、車載Ethernet通信向けブリッジIC以外にも、車

載システムで使われる各種ディスクリート半導体(例えば、高速通信用低容量TVSダイオードDF2S6M4FSなど)も搭載されている。

◎ お問い合わせ

東芝デバイス&ストレージ株式会社
E-Mail ● semicon-event@ml.toshiba.co.jp
URL ● <https://toshiba.semicon-storage.com/jp/semiconductor/application/automotive.html>



▶ ベクター・ジャパン CANoe 10BASE-T1S/GL5450 ETHロガー

● 展示の見どころ

車載ネットワーク開発ツールのデファクトスタンダードであるCANoeは、車載Ethernet通信の解析・シミュレーション・自動テスト機能を提供し、効率的な車載Ethernet開発を実現。展示では、マルチギガやMACsecなど今後のさまざまな車載Ethernet規格に容易にモジュール交換により対応できる新しい車載EthernetハードウェアインターフェイスVN5650を用い、CANoeによる10BASE-T1Sの通信・シミュレーションをするデモ、およびすべての車両バスデータを時間同期して記録することが可能なGL

ロガー(GL5450)を用いて、1000BASE-T1のバス通信をデータロギングするデモを紹介。

◎ お問い合わせ

ベクター・ジャパン株式会社 営業部
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70
品川シーズンテラス 31F
E-Mail ● sales@jp.vector.com
URL ● <https://www.vector.com/jp/ja/>



▶ ウィンボンド・エレクトロニクス セキュリティ機能をアドオン可能! セキュアフラッシュメモリ

● 展示の見どころ

ロードピークルサイバーセキュリティに対応するためには、システム設計最上流部での検討が重要である。製品出荷後の不具合や機能アップグレードはソフトウェア更新で対処できる一方、ECU内のハードウェアコンポーネントを変更することは不可能である。コストを考慮しつつ、必要な機能と性能を発揮するための基盤となるハードウェアをあらかじめ仕込んでおく必要がある。ウィンボンドは、マイクロプロセッサ型SoCに必須な外付けフラッシュメモリのコード&データを保護するべくベストプラクティスを想

定したセキュリティ対策機能を1チップ化したTrustME®セキュアフラッシュメモリを開発。システム設計の途中段階からでもECUにセキュリティ機能をアドオンできるセキュアフラッシュを車載イーサネットSoCの事例で紹介する。

◎ お問い合わせ

ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社
マーケティング&FAE部
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-12
新横浜スクエアビル9F
TEL ● 080-9350-8567 (平日10:00~17:00)
E-Mail ● mkt_onl@winbond.com
URL ● https://www.winbond.com/hq?__locale=ja

